



▲相手と向き合うと、表情はぐっと引き締まります

今月17日(金)～19日(日)に台湾・桃園市で開かれる東アジアジュニア&カデット空手道選手権大会に如水館中学校2年の細井映生さんが日本代表として出場します。

細井さんが出場するのは、対戦形式で技を出し合って相手との優劣を決める組手部門。突きや蹴りを急所に当てる寸前で止める以外は、空手の実践と変わらない種目です。

4歳から空手を始めた細井さん。練習は厳しく、痛い思いをすることもしばしば。「辞めたいと思ったこともあった」そうですが、「仲間を追いつきたい」との一念で競技を続けてきました。

組手は一対一の真剣勝負。相手を上回る気合いや冷静さが勝つためには不可欠です。「もともと気が弱い」と言う細井さんですが、「どんな相手にも自分から攻めていきたい」とイメージトレーニングなどで心も鍛えてきました。

こうした努力が実を結び、今年3月の全国大会で3位に入賞。オリンピック出場をめざすジュニア強化選手に選ばれ、



▲胴着の胸には日の丸とJAPANの文字

国際大会への切符を手に入れました。

素顔は「友だちとのおしゃべりが大好き」という女子中学生。試合に向かう車の中では、好きなアーティストの曲を熱唱して気分を高めるというユニークな一面も。

大会が近づき、「動きの速い外国人選手にも通じる攻撃を身に付けたい」と練習に励む細井さん。「アジアの次は世界。目標はオリンピック出場です」と夢は世界へつながります。

若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 03

三原の空手少女 世界に挑む

如水館中学校空手道部2年

細井映生さん

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

新緑の並木道



写真・絵を募集しています

テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

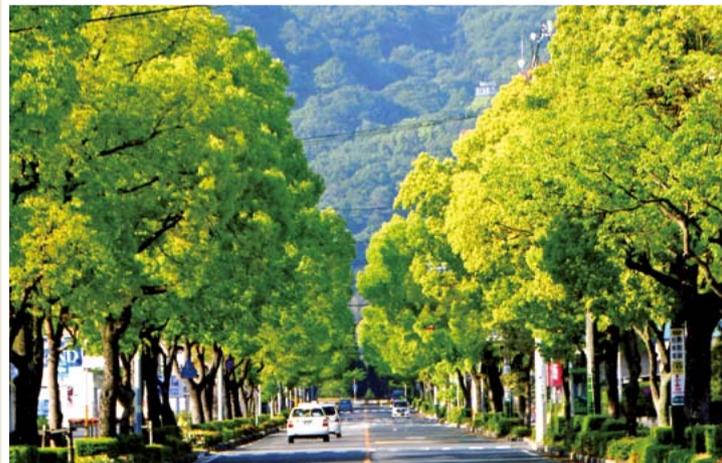
応募資格 市内在住・在勤・在学の人
選考 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属します。
※応募作品は返却しません。

申し込み 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ

作品エピソード 撮影者 もりひらやすのり 森平康則さん

曙橋南詰めから沼田川までの通りの両側に市の木であるクスノキが約100本並んでいます。この季節、若葉の緑が鮮やかで、心が洗われる気持ちになります。



●撮影年月 平成28年5月 ●撮影場所 Ⅱ円一町